



本郷ふじやま公園 本郷ふじやま公園 運営委員会発行

年末恒例の餅つき会

今年は茅葺屋根改修記念でお餅を200人に進呈

今年納めの餅をつきましょう。場所は茅葺屋根改修工事が終わり、3か月半ぶりに足場が取れて、りりしい姿に戻った古民家主屋の前。12月16日(日)の年末餅つき会の、餅つき希望者は当日先着



順に受け付けます。例年は2個 100 円の餡子と黄な粉の2色餅が今年は茅葺屋根改修完成記念



で無料です。しかも 200 人。そして、いつも通りのミニ正月飾り (先着 30 人、350 円)や年賀状刷り(無料)に加えて、今年はパステルシャインアートのクリスマスカード作り(先着 30 人、無料)が加わって楽しさ倍増!ここでカードを作ったらすぐにお友達に出せばクリスマスには十分間に合います。いずれも午前 10 時から。餅つきは 12 時ごろまでやっています。

初冬の里山を楽しむ第5回公園散策路を巡るポイントラリー

回を重ねてもう第5回を迎える公園散策路を巡るポイントラリーが12月9日(日)に行われます。ビンゴゲームややさしいクイズを楽しみながら横浜スタジアム2個分の広さがあるふじやま公園の里山を歩くという恒例のイベントです。歩き終わったらおいしい餅入り汁粉が待っています。決して速さは競わない、シニアにも楽しいラリーです。申し込みは往復はがきか電話で公園事務所まで。



公園あれご



全国各地に被害をもたらした台風24号が、ふじやまい屋によいるいる異されまな様しているた。寛子

ま公園にもいろいろ置き土産を残していった。富士塚からほんの少し孟宗竹の道を下ったあたりで空を見上げると、かなり上の方にサクラの花が…。台風の塩害により花芽に変調をきたし咲いたものだという。塩害といえば、園路沿いの灌木や前庭トイレ横の柿の木の葉が丸まって枯れ葉になってしまったのも塩害だという。

長屋門横の柿の木は強風で大きく傾いて、倒壊の恐れがあるので重機で引っ張って元に戻し、 支えをして、剪定もして、来年の収穫をしやすいようにもした。江戸時代の台風(野分)の後 もサクラは咲いたのだろうか。

◆収穫祭 今年も大盛況でした

今年の収穫祭は11月10日、ちょっと汗ばむほどのあたたかな陽気の中で開催されました。

収穫祭定番のいも掘りや石焼き芋とふじやま鍋は今年も 大人気。すっかりおなじみとなったタッチー君もちびっ子 の人気を独り占めしていました。



最後に、今年はじめての本郷ふじやま公園写真コンテストの表彰や抽選会が行われて、 大盛り上がりの一日となりました。

◆ 新しい講師を迎えた古文書講座が大好評



第17回古文書講座が11月4日、あーすぷらざで開催されました。今年から、横浜市歴史博物館の小林紀子主任学芸員を講師に迎え、明治150年にちなんで「幕末維新期の鎌倉郡の村々」と題して、政権交代期の混乱の様子を小岩井家古文書を紐解きながら楽しくお話いただきました。50人を超える聴衆には「分かりやすかった」と大好評でした。

主屋の改修工事見学会が行われました

11月3日(土)午後改修工事の見学会が行われ、20名以上の見学者に 茅葺職人の責任者から説明がありました。

平成23年11月~12月に茅葺屋根の棟の部分(グシ)の補修から7年ぶりの改修工事で、見学の対象は最終段階にある茅葺屋根の茅差替えです。

茅葺屋根は表面から 20~30cm が雨に濡れるため、その部分の茅は時間とともに腐食し、黒色に変色し、脆くなり落ちてしまい、屋根の厚さが減ります。その補修として、①苔落し、②劣化部分の引抜き、③引抜いた跡に新しい茅の差込み、④仕上げ、の手順で改修工事を行っています。





出来上がりは全面新茅になったように見えますが、よく見ると黒色の古い茅が残りまだら模様になっています。屋根の内部には健全な以前の茅が残っているため、移築時には約4千束の茅を使用しましたが、今回の改修で初めて約1千束の追加にとどまりました。次回の改修は5~10年先になるため、、今回の見学会は珍しいイベントであったといえます。

※「茅」とは屋根をふく材料となるイネ科の植物の

総称。例としてススキ(山茅: 当公園で使用)、ヨシ、オギ、シマガヤ(この3種は水茅)、稲わら等がある。何を用いるかは地域性があるが、ススキが6~7割を占めるとのこと。



コスモス(秋 桜)

キク科の一年草の花で、晩夏から秋にかけ日照時間が短くなるとピンクや赤の花をつける。草丈が 1 メートルと高いため、弱い風にしなやかに揺れる姿は可憐で、見ていると心が癒されるという人も多い。

さだまさしが作詞し、山口百恵が歌った「秋桜」の中では、娘を嫁がせる母親の寂しげな様子に、儚げに揺れる庭のコスモスがうまく溶け込んで表現されている。

公園では、農園わきの柵沿いに植えられている。



《 今年もふじやま公園が栄区民まつりに出展しました 》

11月3日の文化の日に、本郷中学校で開かれた栄区民まつりにブースを出しました。公園の楽しさをみんなに知ってもらおうと、紹介パネルを展示したほか竹炭、べえべえ笛、PRチラシの配布などを行いました。笛が例年以上に人気で200個以上がひっぱりだこでした。別展示の竹細工のコーナーにも出展しました。



『いろり 2 雑記』 から (原文のまま)

このところ月2回くらいやって来て、茅葺屋根の修復を見ていました。 まったく新しい屋根のようで、見ていて気持ちいいです。早く足場や仕切りの フェンスが取れるのが楽しみです。 (市内、70代、ひとりで)



平成30年12月度ボランティア活動予定

部 会•事 項	日 程	部 会・事 項	日 程
事務局会議	1日(土)	古民家歴史部会 部会	8日(土)
農芸部会 部会	17日(月)	古文書解読勉強会	2日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	5日(水)
里山部会 作業	8日(土) 15日(土)	クリーンアップ	4日(火) 18日(火)
	23 日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	19日(水)	ふじやまだより編集会議	8日(土)
子ども工作準備	適時	印刷	13 目(木)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	23 日(日)

ボランティア会員を募集中。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日時	内 容	参加費	応募期限 定員
レザークラフト	12月14日(金)	小銭入れ	1,000円	12月4日(火)
	13時~15時	お札も入るオリジナルタイプ		8名
		(イラストもどうぞ!)		
創作人形	1月10日(木)17(木)	蛤貝とアンテーク着物地を使	2,000円	12月26日(水)
~蛤雛とその飾り物~	24日(木) 31日(木)	用 飾り物は粘土と布を使用		8名
(全4回)	13時~16時			
こけ玉教室	1月25日(金)	こけの里でのこけ玉教室	800円	1月11日(金)
	13時~15時			10名
里山のそば打塾	1月26日(土)	手打ちそばの基本を学び美味	900円	1月11日(金)
	10時~12時30分	しいそばを打ち、自分で打っ		10名
		たそばを試食します。		
		持ち帰りもあります		

- (1)応募要領:往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて 応募期限までに<u>本郷ふじやま公園</u>へ
- (2) 応募者多数のときは抽選 (3) 持参品:返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★主屋改修工事が終わります

9月から行ってきました主屋の改修工事が予定より早く11月中に完了します。土間三和土の更新工事、茅葺屋根の茅差替工事、木部の古色塗装などが終わり、24日には足場が撤去され、以降現場の囲いもとれます。12月初めから本来の姿を取戻した古民家がお目見えします。

★ 歴史探訪へ会員外の方も参加できます

毎月第1水曜日に行っている歴史探訪は公園ボランティア会員に限っていましたが、この度会員以外の方の参加もよいことにしました。ただし傷害保険料はいただくことになります。 12月5日は新横浜周辺コースで9時50分小机駅をスタートし小机城址、鶴見川流域センター、日産スタジアム、横浜アリーナなどを経て新横浜駅を目指します。

★ ボランティア会員募集説明会を行います 公園ボランティアに参加しませんか

ふじやま公園では年間行事の企画実施、農園や竹炭焼きの自然の中での作業、古民家主屋内の飾付け、ふじやまだよりの編集・印刷など色々なボランティア活動があります。これらの活動の説明会を開催します。参加者には公園特産のお土産があります。

日 時:1月15日(火)10時~11時 場 所:工作棟

定 員:30名(先着順)

★ ふじやま公園来園者数 10月来園者数 2,628名 30年度累計 10,951名

• 開 館 時 間: 9時~17時

• 入 館 料: 無料

·休 館 日: 毎月第1水曜日(12月5日)

・クリーンアップ: 毎月第1・3火曜日 (12月4日・18日)

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL: 045-896-0590 FAX: 045-896-0593